

個人が自立する社会

「個立」とは?(研究班の造語)

個人が単独で生活しつつも、孤独感をもたず、心身ともに健やかな生活ができ、何らかの障害が生じたときにはすみやかに相談援助をできるスキルを持つこと。

個立社会の実現に向けて

～社会的孤立と孤独について考える～

2022年

10.30 日

13:00～15:00

(開場 12:30)

オンライン開催

問い合わせ先: ibaraki.koritsu@gmail.com

当日は各シンポジストの発表と全体討論をお聞きいただきます。ウェビナー形式のシンポジウムですが、全体討論の際は参加者の皆様からチャットでの質問やコメントをお受けいたします。お気軽にご参加ください。

参加費無料

プログラム

13:00 開会・主催者挨拶

…… 筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学 太刀川 弘和

13:05 シンポジウム

ひきこもりと対話的支援

…… 筑波大学医学医療系 社会精神保健学 斎藤 環

ひとりであるためのつながり—ダルク女性ハウス「なぜ私たちは寂しいのか」と、ヒアリングボイスーズを手がかりに

東京大学先端科学技術研究センター 当事者研究 熊谷 晋一郎

ひきこもりからの発信

立正大学 社会福祉学部社会福祉学科 ひきこもり研究 関水 徹平

ひきこもりの回復過程から見えてきたもの

…… ひきこもり新聞創刊者・ひきこもり経験者 木村 ナオヒロ

14:05 休憩

14:15 全体討論

14:55 閉会

開催にあたって

「社会的孤立」は本当にネガティブなものとして捉えていいのでしょうか?

孤立状態であっても、健やかな生活を送るために何が必要でしょうか?

本シンポジウムはこれら疑問を幅広い視点から捉え、「個立」社会の実現に向けて何が必要かを話し合う、まったく新しいシンポジウムです。

申し込み方法

下記アドレス(申込フォーム)又はQRコードから申し込みをお願い致します。

<https://forms.gle/jYq7Kd6yCRkE77zv8>

締切日:

2022年10月27日(木)



主催:筑波大学 「社会的孤立の生成プロセス解明と介入法開発:健康な「個立」を目指して」研究班

※本取り組みは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発センター(RISTEX)より支援を受けた「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム(社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築)」研究開発プロジェクトにて実施するものです。